

熊沢 誠 『リストラとワークシェアリング』 岩波新書 2003年

1. 目次

- 1章 労働の暗い状況のなかから
  - 2章 失業とリストラの今日
  - 3章 雇用機会をわけあう思想と営み
  - 4章 フルタイムの短縮 連帯のワークシェア
  - 5章 パートタイムの均等待遇 選択のワークシェア
- あとがき

2. 著者紹介

熊沢 誠

1938年 三重県四日市市に生まれる

1961年 京都大学経済学部卒業

1969年 京都大学大学院経済学研究科博士課程 経済学博士

専攻：労使関係論、社会政策論

現在：甲南大学名誉教授

著書：

『能力主義と企業社会』（岩波新書）、『女性労働と企業社会』（岩波新書）、

『格差社会ニッポンで働くということ——雇用と労働のゆくえをみつめて』（岩波書店）他

3. 選定理由

- ・ ワークシェアリングとは何かについて議論する。
- ・ 日本のワークシェアの普及の程度について明らかにする。
- ・ 欧米におけるワークシェアリングについて明らかにする。
- ・ 失業という現実について考える。
- ・ 「希望退職」をする理由について明らかにする。
- ・ 既婚女性を退職に追い込む圧力について考える。
- ・ 新規学卒者の進路と若者の離職について明らかにする。
- ・ 現代日本のパートタイマーの現状がよくなるか考える。
- ・ パートタイマーにおける最低賃金や雇用保険について明らかにする。
- ・ 横断的労働市場について明らかにする。